

Dr. Dre と Kendrick Lamar から読み解くラップミュージックの変遷

法学部政治学科 4 年

井上雄太

- I. はじめに
- II. ヒップホップの成立とアーティストの関係性
- III. Dr. Dre の『Straight Outta Compton』と政治的メッセージ
- IV. Kendrick Lamar の『good kid, m.A.A.d city』とコミュニティへ向けたメッセージ
- V. 時代と共に変わるヒップホップの役割
- VI. おわりに
- VII. 参考文献

I. はじめに

「音楽は世界語であり、翻訳の必要がない。そこにおいては魂が魂に話しかけている。」これは作曲家バッハが残した言葉である。音楽は人類と共にあり、最初の管楽器は約 3 万 6000 年前まで遡る。古代からバッハが生きたバロック時代、そして現代に至るまで音楽は様々な形、ジャンルを通じて人々に寄り添ってきた。そんな中でも近年、特に注目を集めているジャンルがある。それはヒップホップだ。1970 年代に黒人文化としてニューヨークのブロンクスで誕生したヒップホップはアメリカのみならず言葉の壁を超えて世界中で聞かれているジャンルの一つへと成長した。

Spotify の CEO であるダニエル・エク (Daniel Ek) によると、ヒップホップ誕生 50 周年を迎えた 2023 年に最もストリーミングされたジャンルはヒップホップで、ストリーミング量の全体の 4 分の 1 を占める約 25% がヒップホップ・ミュージックであった。¹ さらに過去 3 年間、他のジャンルと比べて音楽ジャンルとしての歴史が浅いのにも関わらず世界で最もストリーミングされた Spotify のトップ 50 アーティストのほぼ半数がヒップホップのアーティストである。² ヒップホップがここまで人々に

¹ Daniel Ek (2023)

https://twitter.com/eldsjal/status/1690008904774586368?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1690008904774586368%7Ctwgr%5Ea7905c02d7f1222aabfa8e88e2348fdb963a1f18%7Ctwcon%5Es1_&ref_url=https%3A%2F%2Fflyer.tv%2Farticle%2F2023%2F08%2F17%2Fspotify-hiphop%2F

² 同上。

聞かれる理由として 1970 年代以降のアメリカ、特に黒人貧困層に大きな影響を与えた文化であるからだ。大和田俊之は『アメリカ音楽史』において、当時の黒人貧困層にとってヒップホップは生きる道であり自分達を代弁する声となったと指摘している。³ このように絶大な人気を誇り、人々の文化と密接に関わるヒップホップがどのような影響を与えたのかに関心を持ち、この論文を書くに至った。そこで今回は 1980 年代に N.W.A というグループに所属し、現在はソロ活動をしているドクター・ドレー (Dr. Dre) と 2010 年代から活躍し、現代を象徴するラッパーであるケンドリック・ラマー (Kendrick Lamar) の二人に着目する。そして彼らのアルバム『Straight Outta Compton』と『good kid, m.A.A.d city』を読み解くと同時に、異なる時代で活躍する 2 人のメッセージ性の違いとその影響について書いていく。まず、この 2 人のラッパーを選んだ理由を、ヒップホップの歴史に紐付けながら述べる。

II. ヒップホップの成立とアーティストの関係

先ほども少し触れたが、ヒップホップは 1970 年代に黒人文化としてニューヨークのブロンクスで誕生した。ヒップホップとはブレイクダンス、グラフィティ、DJ、ラップを中心とする黒人文化である。⁴ ヒップホップ文化は 1970 年代の目まぐるしい変化を遂げるニューヨークで生まれた。当時のニューヨークでは都市開発が進み、失業率が高く、ギャングの誕生や薬物の横行が盛んになっていった。⁵ 都市開発により新たなビジネスが繁栄したと同時に既に繁盛していた従来のビジネスを破壊した。⁶ これによってアフリカ系アメリカ人、プエルトリコ人、ユダヤ人を追いやる形となり失業に繋がった。⁷ 結果的に東や南ブロンクスに追いやられた人が集まり治安が悪化し、ギャングによる犯罪件数が増えていった。そのうち、1980 年代に入るとギャング

³ 大和田俊之 (2011)、『アメリカ音楽史』、講談社。226-228 頁。

⁴ 同上、228 頁。

⁵ 『アメリカ音楽史』(2011)、226 頁。

⁶ 同上、226 頁。

⁷ 大和田俊之、長谷川町蔵 (2011)、『文化系のためのヒップホップ入門』、アルテスパブリッシング、23 頁。

同士の争いが増え始め、規模が拡大していく。⁸ ニューヨークだけでなくロサンゼルスでもギャングが台頭し始め、警察でさえもコントロールすることが難しくなっていた。ギャングの規模拡大につれて人々も生き残るためにはギャングに参加する道しか残されておらず、負のサイクルを生み出していた。そこで別の道を作り出したのがヒップホップなのである。ラップ・ミュージックが黒人コミュニティに与えた影響について、大和田はこのように述べている。特にニューヨークのブロンクスで開催されたブロックパーティにおいてDJのビートに合わせてセリフを挟んだことで誕生したラップがギャングの人々に希望を与えた。⁹ ヒップホップの文化に身を置くことでギャングから距離をとって喜びを見出し、自身のライフスタイルにすることができた。その内容の基本は物語を話すことであり、そのほとんどはラッパーが直面する日々の問題である。これは暴力や犯罪から離れることでありながら自己表現をする自由を人々に与えていたのである。

ヒップホップの中でも黒人コミュニティに言及した最初の曲と言われているのが、1982年にリリースされたGrandmaster Flash and the Furious Fiveの「The Message」という楽曲であると言われている。¹⁰ その後、日々黒人コミュニティでどのような生活を送っているのかを楽曲の形として世に送り出すアーティストが増加していく。また1980年代後半から1990年代前半には特に警察との関係性に言及する楽曲が多かった。この背景には1970年代のニューヨークの変化を機に警察の治安のコントロールが追いつかなくなっていたことがある。また1968年にニクソンがキャンペーンとして打ち出した「法と秩序」によって犯罪への取り締まりが強化し厳しい罰が課せられるようになった。¹¹ これによって黒人コミュニティと警察との衝突が増加し、1982年に発表された「The Message」で黒人コミュニティの現状を伝えたことをきっかけに、そのような楽曲が増加していった。

そんな中誕生したのがDr. Dreがかつて所属していたヒップホップグループN.W.A

⁸ 『アメリカ音楽史』(2011)、226頁。

⁹ 同上、227-228頁。

¹⁰ Rolling Stone (2012), "The 50 Greatest Hip-Hop Songs of All Time," <https://www.rollingstone.com/music/music-lists/the-50-greatest-hip-hop-songs-of-all-time-150547/grandmaster-flash-and-the-furious-five-the-message-2-96795/>

¹¹ 大和田俊之(2021)、『アメリカ音楽の新しい地図』、三松堂、140頁。

である。N.W.A は Dr. Dre、Easy-E、Ice Cube、Arabian Prince、MC Ren、DJ Yella から構成されるカルフォルニア州コンプトンで結成されたヒップホップグループである。メンバー脱退や死に伴いグループとしての活動期間は短い、アルバム『Straight Outta Compton』は販売数合計が 30000 枚を突破し 3x platinum に認定されており、多くの人々に聞かれたことがわかる。¹² 薬物や犯罪を賛美することの他にメンバーが受けた差別や警察暴力を題材にした政治的な曲も含まれている。中でも代表曲の「Fuck tha Police」はプロテスト・ミュージックとして黒人からの支持が厚い。

Dr. Dre は N.W.A ではもちろん、その後のソロ活動でもラッパー/プロデューサーとして当時の音楽シーンや音楽業界のあり方を大きく変えてきた。アーティストとしてヒップホップシーンに影響を与えただけでなく、Snoop Dogg や Eminem などを発掘し優れたプロデュース能力を持つヒップホップのレジェンドとして知られている。¹³ その後、2010 年に若きラッパー Kendrick Lamar を Dr. Dre のレコードレーベルである Aftermath Entertainment に引き込み、育てたのが Dr. Dre である。¹⁴ Kendrick Lamar は Dr. Dre と同じコンプトン出身で彼と同じ高校に通っていた。Lamar は 2003 年に 16 歳ながらにしてラッパーデビューを果たし、現在では「ヒップホップの新王者」と称される程にラッパーとして成功している。¹⁵ Lamar は、リリカルなラッパーとしての呼び名が高く¹⁶、Dr. Dre とは違う形で黒人コミュニティの日常を描き出して、数々のグラミー賞や歌手として初めてとなるピュリッツァー賞も受賞している。人々への影響が大きく、2020 年に起きた白人警察官によるジョージ・フロイドの殺害を受けて、Kendrick Lamar の楽曲「Alright」がプロテスト・ミュージックとして使われた。¹⁷

このように、出身地が同じで背景も似ていながら、異なる時代で活躍する二人を比較

¹² <https://www.riaa.com/>

¹³ 大和田俊之、長谷川町蔵 (2011)、141 頁。

¹⁴ 大和田俊之、長谷川町蔵 (2018)、『文化系のためのヒップホップ入門 2』、アルテスパブリッシング、28 頁。

¹⁵ 「ケンドリック・ラマー」<https://open.spotify.com/intl-ja/artist/2YZyLoL8N0Wb9xBt1NhZWg>

¹⁶ 大和田俊之、長谷川町蔵 (2018)、29 頁。

¹⁷ 『アメリカ音楽の新しい地図』(2021)、134 頁。

することで人びとにとってのヒップホップ・ミュージックの立ち位置を確認できると考えた。中でも彼らの代表的なアルバムである『Straight Outta Compton』と『good kid, m.A.A.d city』に着目する。一般的にヒップホップといえば黒人、警察との衝突、ラッパー同士の抗争、ギャングなどのイメージが強いが、1970年代以降と現在ではそのイメージは異なるのか、そして、比較を通して2人のアーティストによってどのようにヒップホップの立ち位置が変化したのかを明らかにする。

III. Dr. Dre の『Straight Outta Compton』と政治的メッセージ

1988年にN.W.Aはアルバム『Straight Outta Compton』をリリースした。その中で最も悪名高く過激な表現の多い「Fuck tha Police」の歌詞を一部抜粋しながら見ていく。なお、歌詞の訳は全て筆者による。

①

Fuck the police coming straight from the underground
警察なんてクソ喰らえ、俺らはアンダーグラウンド出身だ

②

police think They have the authority to kill a minority
Searching my car, looking for the product
Thinking every nigga is selling narcotics
警察はマイノリティーを殺す権限があると思っている
俺の車を搜索してブツを探している
黒人なら誰でも薬物を売っていると思いやがって

③

Beat a police out of shape

And when I'm finished,

Bring the yellow tape

警察をボコボコに形を変えて

それが終わったら

黄色のテープを巻いてやる

④

But don't be a black and a white one

Cause they'll slam ya down to the street top

Ice Cube will swarm on any motherfucker in a blue uniform

だが黒人が警察になってもダメ白人もダメだ

アイツらはお前を地面に叩きつけるだけ

アイスキューブは青い制服を着た奴らを攻撃するのさ

⑤

Cause my identity by itself causes violence

俺のアイデンティティーそのものが暴力なのさ

全体を通して警察官に対して敵意剥き出しなのが見て取れる。①では 1980 年代の時代背景を踏まえると警察や社会を真っ向から批判することは難しかったが、N.W.A は underground (アングラ) で活躍していたためそういった慣例を無視して警察に歯向かうことができると主張している。②では黒人が警察から受けている仕打ちを表している歌詞であり、ただ肌が黒いだけで受けている仕打ちや差別をリアルに描いている。実際、1984 年から 1990 年の間にはクラック・コカインの濫用が爆発的に増加し、アメリカ全土に蔓延していた。¹⁸ 警察官が、黒人であるという理由で取り調べをし、暴力を振るうことはよくある話でその現状を訴えている。③では警察に対しての

¹⁸ 『アメリカ音楽史』(2011)、236 頁。

憎悪を表現し、自分達が受けた仕打ちをそっくりそのまま暴力で返したい意思表示をしている。④N.W.A の憎悪は白人警察官に向けられたものではなく、あくまでも警察という組織に対してのものであり、肌の色を問わず警察を信用していないことが窺える。⑤そして暴力に対しての解決策は暴力であることを訴え、「I want justice」という言葉で締めくくられている。この曲全体を通して警察という組織への憎悪を示し、その対抗策として暴力を選んでいる。また、自分達が感じたままを好きか嫌いかに関わらず口に出すその姿はフッドの声を代弁しているとして、人々の中で受け止められた。この曲が発表されたことで過激な歌詞に触発されたアメリカの若者が各地で暴動を起こし、社会問題までに発展したことで、N.W.A は FBI の監視下に置かれるなど大きな影響を与えている。¹⁹

次に 8 曲目に収録されている「Express Yourself」を見ていく。「Fuck tha Police」とは異なり、過激な表現は少なく明るくフレッシュな雰囲気が特徴的な曲である。

①

Yo, man, there's a lot of brothers out there
Flakin' and perpetratin' who scared to kick reality
おい、世の中にはたくさんのおかしい奴らがいるぜ
場違いな行動や犯罪を犯すけど現実と向き合わない奴らがさ

②

'Cause some don't agree wit how I do this
I get straight, and meditate, like a Buddhist
俺のやり方に賛成しない奴らがいるから
俺は素直に、仏教徒みたいに瞑想する

¹⁹ 『アメリカ音楽の新しい地図』(2021)、頁。

③

I still express yo I don't smoke weed or sess
'Cause it's known to give a brother brain damage
And brain damage on the mic don't manage nuttin
俺は表現者で大麻を吸わない
だって脳にダメージを与えるらしいからな
脳にダメージを負っちゃマイクで表現できないからな

④

So where should a brother like you start expressin' yourself?
お前らはいつになったら自分を表現するんだ？

⑤

There's no fessin' or guessin' when I'm expressin' myself
It's crazy to see people be what society wants 'em to be,
But not me!
俺は自分の表現に疑いはない
社会が望むような人間になるのを見るのはイカれている
俺はそうはならない！

⑥

Yeah they want reality, but chu won't hear none,
They rather exaggerate a little fiction!
Some say no to drugs, and take a stand,
But after the show they go lookin' for the Dopeman!
真実を聞きたいと思っても無駄さ
作り話を大袈裟にいうだけさ
薬物を否定する立場を取っても
裏では薬物を探しているのさ

⑦

To make somethin' dope on a record that's what he came for,

Kickin' reality over stand us up,

But it's important to keep it in mind to Express Yourself!

俺は曲でドーブなことを言いにくたのさ

俺たちを封じ込める現実を蹴散らして

自分を表現することを頭に入れとけ！

この曲では自己表現、オリジナル性、自身に正直であることをテーマにしている。

①では犯罪や常識を逸する行動を起こす者を批判し、根本となる問題に向き合うべきだと主張している。②では周りからの批判を気にせず、自分の信念を曲げない意志が伝わってくる。③では Dr. Dre の表現方法はマイク（ラップ）であり、そのために薬物に手を出さないと言っている。バース 1 である①から④では音楽に対する Dr. Dre 自身の個性を自覚し、表現を薬物ではなくスキルで表現することを述べている。これは、本当の自分を認めて社会の常識に反することでも考えや意見を発信するべきであるという聴き手へのメッセージが込められている。⑤では揺るぎない考えの下、社会や世間体にならざる覚悟の表れである。⑥ではその言葉を他のラッパーに向け、表舞台と裏での行動の矛盾を指摘した。⑦では自分を貫くために表現しているとした。

バース 2 である④から⑦はポップチャートのためではなく純粋な自分を表現したい願望から始まり、ポップカルチャーやトレンドに合わせ、自身の独自性と真正性を犠牲にする他のアーティストへの批判へと繋がる。世間からの圧に負けて自分に正直になれないことへの批判を強調している。また、反薬物を謳っているのにも関わらず、裏ではバレないように薬物と関わりを持つアーティストへもヘイトを向けている。

N.W.A はその攻撃性から物議を醸したり、音楽業界や社会から批判を受けたりしているが、それに屈せず自身に正直になりながら音楽を通して表現をやめない意志を持っていることが窺える。これはたとえどんな結果になろうとも、自分の行動に責任を持ち自由に自己表現することを聴き手に訴えていると言える。

IV. Kendrick Lamar の『good kid, m.A.A.d city』とコミュニティへ向けたメッセージ

Kendrick Lamar のアルバム『good kid, m.A.A.d city』は 2012 年に発表された。これは彼のメジャーデビューアルバムでありコンプトンで「良い子」(高校主席卒業)として育った自伝的作品である。アルバムを通して物語のような構成で、貧困やギャングなど黒人の日々の生活を取り上げると共に、Kendrick Lamar 自身やその周りの環境を絡めながら歌い上げている。2 曲目の「Bitch Don't kill my Vibe」ではラッパーとしての Kendrick Lamar の考えが語られる。徐々にラッパーとして人びとに認知されてきたことによって周りの人の態度も変わったことを歌う。メインストリームのアーティストとしてただ有名になるのではなく自分の信念をキープし続ける覚悟を表明する曲である。一方で、4 曲目の「The Art of Peer Pressure」では仲間に流されてしまう Kendrick Lamar の葛藤を歌っている。高校主席卒業からわかるように彼はドラッグなど全くやらず、酒で泥酔することもなく、暴力とも無縁な穏やかな性格の持ち主だった。²⁰ しかし、仲間と一緒にになると飲酒やドラッグに手を出し、ナンパやギャングの男を襲っていた。自身の信念を突き通せず仲間からのプレッシャーに負けてしまう葛藤を描いている。

7 曲目の「good kid」ではギャング・コミュニティでの葛藤を描いている。ストリートではクリップス (青) かブラッズ (赤) のどちらかに所属し、それを背負うことが重要視されていたが、彼はどちらにも所属していなかった。自身のアイデンティティーを確立できず優等生でいることの大変さを語っている。また、2 バース目では警察に連行された際にギャングと無関係であるのにも関わらず、若い黒人男性は皆危ないギャングという偏見から警察からの敬意を損なわれることが起こった。²¹ これによってストリートと社会の中での居場所を失ったことへの悩みと葛藤が浮き彫りにされる。8 曲目の「m.A.A.d city」では犯罪が蔓延るコンプトンの現実を目を向けながら、同時にコンプトンで生きる人達に希望を与えようとしている。自身が経験したストリーートの誘惑や周りからのプレッシャーに負けずに生きて欲しいという願いが込められ

²⁰ 『アメリカ音楽の新しい地図』(2021)、140-141 頁。

²¹ 『アメリカ音楽の新しい地図』(2021)、141 頁。

ている。その想いが 10 曲目の「Sing About Me, I'm Dying of Thirst」で複数の登場人物と Kendrick Lamar 自身の目線からそれぞれの想いが語られている。1 パース目は射殺されてしまったデイブ（仲間の 1 人）の兄弟の目線である。

①

This orphanage we call a ghetto is quite a routine

この孤児院に放り込まれた子供がゲットーに向かうのは普通のことだよな

②

My plan's rather vindictive

Everybody's a victim in my eyes

俺が考えていることは復讐のことばかりさ

目に映る全員を殺してやるんだ

③

I wonder if I'll ever discover a passion like you and recover

君みたいに情熱を見つけられたら自分の人生を救えるんじゃないかと思っていた

④

Niggas like me never prosper

Prognosis of a problem child, I'm proud and well-devoted

This Piru shit been in me forever

俺みたいなやつは何も成し遂げられない

問題を抱えた子供の末路さ、ここから逃れることはできない

ギャングの生活が一生続くんだな

⑤

Just promise me you'll tell this story when you make it big

君が成功したら俺とデイブのことを歌うことを約束してくれ

ここでは①から③を通してストリートで生まれる復讐劇が終わらないことを意味している。ギャングから抜け出したいものの、抜け出す術がなく殺人や憎しみを含む負のサイクルに巻き込まれていることを語る。③から⑥で、狂ったコンプトンという街から抜け出すために情熱を持てるものが見つからない絶望、そしてデイズと自分を歌にしてこの現状を世の中に広めて欲しいという願いが込められている。2バース目は売春婦キーシャの姉妹の目線で歌われる。以前 Kendrick Lamar が出したアルバム『Section.80』にて売春婦キーシャの名前を出したことで彼女の名誉が傷付けられたとキーシャの姉妹が主張している。一方でお金のために売春婦をせざるを得ないキーシャの姉妹の状況も描いている。

①

How could you ever just put her on blast and shit?

Judgin' her past and shit?

なぜあなたは彼女を辱められるの？

過去の行いにケチをつけないでよ

②

And I'ma need that forty dollars

Even if I got to fuck, suck and swallow

私には 40 ドルが必要な

たとえ犯され、男に奉仕しなくてもね

③

This is the life of another girl damaged by the system

こうやってまた 1 人の女の子が街のシステムに侵されていく

④

I'll probably live longer than you and never fade away

I'll never fade away, I'll never fade away, I know my fate

きっとお前より長く生きて、絶対に消え去ったりしない

絶対に消え去らないわ、自分の運命をわかっているもの

Kendrick Lamar は『Section80』にて売春婦キーシャを救う思いで彼女の人生について歌ったが、キーシャの姉妹からするとキーシャの人生が不当に解釈されてしまったと怒りを露わにしている。これはコンプトンを渦巻く問題の一つである売春婦のシステムに対して問題提起した歌となっている。また 40 ドルという少ないお金でも体を売って生活費を稼いでいる現状やそんな中でも「絶対に消え失せない」覚悟、そして自信を持つキーシャの姉妹の気持ちの強さが表れている。この 1 バース目と 2 バース目を踏まえて今度は Kendrick Lamar の目線から語られる想いが 3 バース目に収録されている。Kendrick Lamar はデイブやキーシャのことを踏まえて自身の人生を変えることを望むようになる。

①

And every day that glass mirror get tougher to watch

And I'm not sure why I'm infatuated with death

毎日鏡で自分を見るのが嫌になっている

死を意識してしまう理由がわからないんだ

②

And you're right, your brother was a brother to me

And your sister's situation was the one that pulled me

In a direction to speak on something

お前が正しかった、お前の兄は俺の兄であり

君の姉が経験した地獄が俺の意志を動かしたんだ

それについて話すべきであると道を照らしてくれたんだ

③

By any means, wasn't tryin' to offend or come between

Her personal life, I was like "It need to be told"

Cursin' the life of twenty generations after her soul

Exactly what'd happen if I ain't continue rappin'

彼女を侮辱するつもりはなかった

彼女の人生は語られるべきだと想い歌ったんだ

でないと彼女の 20 ほど先の世代の人生が呪われてしまう

ラップしない限り、間違いなく起きてしまうんだ

④

Look at the weak and cry, pray one day you'll be strong

Fightin' for your rights, even when you're wrong

弱者の叫びを見つめ、いつか強くなる日を祈る

君のために戦っているんだ、たとえ君が間違っていたとしても

ここでは Kendrick Lamar がキーシャの話を出してキーシャの姉妹が怒っていることに対して、この考えをもたらしめているのはコンプトンという狂った街であり、その典型的な生活であると指摘している。デイブが Kendrick Lamar の歌に価値を見出し、自分達と同じ境遇の人びとを助けてくれるはずだと信じたように Kendrick Lamar 自身を信じて欲しいと述べている。コンプトンの負のシステムが彼女の思考をコントロールしてしまっているから、それに気づいて欲しいことを歌っている。また、死を恐れる Kendrick Lamar を勇気付け道を示してくれたのは 2 人の物語であると語る。コンプトンで生きている上で創造される狂った思想を捨てて、新たな人生に足を踏み入れる決心がつく心情が描かれている。コンプトンの人びとにたとえ過去に過ちを犯しても、自分の権利のために戦い、自身の人生を歩んで欲しいと願っている。そして、最後に立場の弱い人のために歌い、いつか誰かが Kendrick Lamar の曲を歌って欲しいという願いで曲が締めくくられる。これを機に立ち直った Kendrick Lamar は「Real」や

「Compton」の曲を通して、自分と向き合い始める。人を殺すことでもなく、酒や薬物で心の穴を埋めるのではなく自分自身を愛する自己愛の重要性を説く。自分を愛することは自身の欲求を見つけ、コンプトンの典型的な生活に流されないことだと気づく。そして、最後に Kendrick Lamar が歌の中で経験したようなことを聴き手に経験してほしいという願いが込められている。

V. 時代と共に変わるヒップホップの役割

Dr. Dre と Kendrick Lamar の与えた影響を比べるためにアルバムの売上とランキング・レビューや評論家の意見を比較していく。まず『Straight Outta Compton』の売上だが、アメリカレコード協会（RIAA）によると、1988 年 8 月のリリースから 11 ヶ月で 100 万枚ものアルバムが売れた。²² 現在では 300 万枚もの数を売り上げている。²³ 世界的にも知名度が高い米国の音楽チャート Billboard にて R&B/ヒップホップ部門で 9 位²⁴、そして週ごとの人気アルバムを順位づける Billboard 200 では 37 位にランクインした。²⁵ また、2015 年に上映された映画『Straight Outta Compton』によって Billboard 200 の 30 位²⁶ まで上昇した。さらに、タイトルトラックである曲の「Straight Outta Compton」が Billboard hot100 の 38 位²⁷ にランクインするなどリリース当時よりも人気が出た。2016 年にはラップアルバムで初となるグラミー殿堂賞を獲得する。²⁸ ランキングにおいては Rolling Stone が 2020 年に発表した「Greatest Album of All Time」では 70 位にランクインした。²⁹ 新聞社 Chicago Tribune の Greg Kot は N.W.A. のサウンドは東海岸のヒップホップよりも濃くてファンキーであり、彼

²² <https://www.riaa.com/>

²³ 同上。

²⁴ <https://www.billboard.com/charts/hot-100/>

²⁵ <https://www.billboard.com/charts/billboard-200/>

²⁶ 同上。

²⁷ <https://www.billboard.com/charts/hot-100/>

²⁸ <https://www.grammy.com/awards/hall-of-fame-award#s>

²⁹ <https://rollingstonejapan.com/articles/detail/35155/15/1/1>

らの歌詞は東海岸のグループ、パブリック・エネミーのと同じくらい痛烈だと述べている。³⁰

「good kid, m.A.A.d city」の売上は初週で24万枚を達成し、RIAAによるとリリースの6年後には300万枚を売り上げた。³¹ また、Billboard200ではいきなり2位にランクインした。³² さらに世界的に権威のある音楽賞、グラミー賞で2014年に最優秀ラップ・アルバム賞とグラミー賞最優秀アルバム賞を受賞した。³³ Rolling Stoneの「Greatest Album of All Time」では115位にランクインした。³⁴ またRolling StoneのJody Rosenによると70年代のアフリカ系アメリカ人を客層として想定したブラックスプロイテーションのサウンドトラックと90年代のギャングスタ・ラップのブラックスプロイテーションのリバイバルであると語る。³⁵ またその歴史的な系譜に位置付ける価値があると述べている。³⁶ また*Chicago Tribune*のGreg Kotはコメディと複雑さ、そしてケンドリック・ラマーの頭の中にある多くの声に溢れたアルバムであるとし、Kendrick Lamarがギャングスタの常套句を加え、時には完全に覆してみせたと称賛した。³⁷ アメリカの音楽メディア*Pitchfork*のJayson Greeneはこのアルバムの奇跡はストレートなラップのスキルを活かして重みのある素材と物語を結びつけたこと

³⁰ Greg Kot (1989), “N.W.A Straight Outta Compton,”

<https://www.chicagotribune.com/1989/07/13/nwastraight-outta-compton-ruthlesspriority-starstarstar-12now-that/>

³¹ <https://www.riaa.com/>

³² <https://www.billboard.com/charts/billboard-200/>

³³ <https://www.grammy.com/awards>

³⁴ <https://rollingstonejapan.com/articles/detail/35155/15/1/1>

³⁵ Jody Rosen, (2012), “good kid, m.A.A.d city”

<https://www.rollingstone.com/music/music-album-reviews/good-kid-m-a-a-d-city-185646/>

³⁶ 同上。

³⁷ Greg Kot, (2012), “Album review: Kendrick Lamar, 'good kid, m.A.A.d city'”

https://web.archive.org/web/20121105120328/http://articles.chicagotribune.com/2012-10-21/entertainment/chi-kendrick-lamar-album-review-good-kid-maad-city-reviewed-20121021_1_kendrick-lamar-album-review-character-actor

だと述べている。³⁸ 売上やレビューから分かるように両アルバムとも高い賞賛を得ていることがわかる。両アルバムとも 300 万枚の売上を突破し、各レビューから高い評価を獲得している。

次にそのメッセージ性の比較に移る。N.W.A の『Straight Outta Compton』の「Fuck tha Police」では警察への敵意を剥き出しにし、白人警官だけでなく警察という組織自体への嫌悪を露わにしている。そして、警察という組織に対して暴力で反抗する意志を持ちながら、これは黒人コミュニティの声を代弁しているという責任感も感じる。「Express Yourself」では社会や世間体にながれずに自分を貫き通す重要性を説いている。また、自身を表現者とし、薬物ではなくマイクで発信していくことも示している。さらに薬物に関わり表の顔と二面性を持つ他のラッパーにヘイトを向けている。常識に流されて社会に合わせる姿勢を批判している曲となっている。Kendrick Lamar の「good kid, m.A.A.d city」ではアルバムを通して二つのメッセージを世に送り出している。一つ目は環境に流されず自分を保つことであり、二つ目が Kendrick Lamar の歌を聴いた聴き手に自身の生き方を見直して欲しいという想いだ。一つ目に関しては、自身がラッパーとして有名になる中で周囲の人の反応や環境の変化に振り回される葛藤を歌に込めている。優等生である Kendrick Lamar がギャングに所属しておらず、ストリートを背負えないことによるアイデンティティの喪失や警察側からはギャングとして見られ、自身への敬意も損なわれていることのショックも主張している。そして、コンプトンという街が負のシステムを作り出しているため、そこから抜け出す上で自分の信念を持たなければいけないと言っている。Kendrick Lamar も Dr. Dre も力の持つ組織に対する抗いと自身を貫く信念という共通点がある。ただ、その向き合い方は両者とも違い、Dr. Dre の場合は暴力であり、Kendrick Lamar の場合は自身と身近な人との葛藤である。Dr. Dre は警察や社会という全体のコミュニティに向けたメッセージであるのに対して、Kendrick Lamar は身近な人（デイベやキーシャ）と自身に目を向けてどうすれば自分を保ちコンプトンから抜け出せるかを歌っていた。お互いに向いている矢印が違うものの、時代や環境に流されず自分を貫く姿を表現している。このブレない姿に共感したリスナーが多くいるのではないかな。

³⁸ Jayson Greene (2012), <https://pitchfork.com/reviews/albums/17253-good-kid-maad-city/>

VI. おわりに

このように Dr. Dre と Kendrick Lamar ではメッセージ性が異なるがその伝え方も異なることがわかる。大和田俊之によると Dr. Dre は暴力的なリリックで都市のゲットー・ライフを描き出しているのに比べて³⁹、Kendrick Lamar は弱い自分、孤独な自分を推し出す「内省的」なラップである。⁴⁰ 『good kid, m.A.A.d city』では N.W.A を始めとしたいわゆるギャングスタ・ラップのこわもての部分を削ぎ落とし、内に秘める脆さを曝け出したようなアルバムに仕上がっている。自身の置かれる現状に疑問を持ち、葛藤しながら考え、世の中に問題提議のメッセージを送り出す点では、Dr. Dre と同じなのではないだろうか。また、そのメッセージは時代を超えてどの聴き手にも物事を考えさせるパワーがあると考ええる。これから先も、彼らの影響で台頭する音楽・アーティストが増え続けることは間違いない。

³⁹ 『アメリカ音楽史』(2011)、234 頁。

⁴⁰ 『文化系のためのヒップホップ入門 2』(2018)、23 頁。

VII. 参考文献

書籍

大和田俊之、『アメリカ音楽史』、講談社、2011年。

大和田俊之、長谷川町蔵、『文化系のためのヒップホップ入門』、アルテスパブリッシング、2011年。

大和田俊之、長谷川町蔵、『文化系のためのヒップホップ入門2』、アルテスパブリッシング、2018年。

大和田俊之、『アメリカ音楽の新しい地図』、三松堂、2021年。

ウェブサイト

Billboard. "Billboard Hot 100." <https://www.billboard.com/charts/hot-100/>

Billboard. "Billboard 200." <https://www.billboard.com/charts/billboard-200/>

Ek, Daniel. Twitter (2023年8月11日)

https://twitter.com/eldsjal/status/1690008904774586368?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1690008904774586368%7Ctwgr%5Ea7905c02d7f1222aabfa8e88e2348fdb963a1f18%7Ctwcon%5Es1_&ref_url=https%3A%2F%2Fflyer.tv%2Farticle%2F2023%2F08%2F17%2Fspotify-hiphop%2F

"Grammy Awards: Awards Nominations & Winners." Recording Academy.

<https://www.grammy.com/awards>

"Grammy Hall of Fame Award." Recording Academy.

<https://www.grammy.com/awards/hall-of-fame-award#s>

Greene, Jayson. Review. "Kendrick Lamar 'good kid, m.A.A.d city.'" *Pitchfork*. 2012.

<https://pitchfork.com/reviews/albums/17253-good-kid-maad-city/>

Kot, Greg. "Album review: Kendrick Lamar, 'good kid, m.A.A.d city.'" *Chicago Tribune*

October 21, 2012.

https://web.archive.org/web/20121105120328/http://articles.chicagotribune.com/2012-10-21/entertainment/chi-kendrick-lamar-album-review-good-kid-maad-city-reviewed-20121021_1_kendrick-lamar-album-review-character-actor

Kot, Greg. "N.W.A Straight Outta Compton." *Chicago Tribune* July 13, 1989.

<https://www.chicagotribune.com/1989/07/13/nwastraight-outta-compton-ruthlesspriority-starstarstar-12now-that/>

Recording Industry Association of America. <https://www.riaa.com/>

Rolling Stone. "The 50 Greatest Hip-Hop Songs of All Time." December 5, 2012.

<https://www.rollingstone.com/music/music-lists/the-50-greatest-hip-hop-songs-of-all-time-150547/grandmaster-flash-and-the-furious-five-the-message-2-96795/>

Rolling Stone. 「ローリングストーン誌が選ぶ『歴代最高のアルバム』500選 | 2020 年ベスト」 2021/01/04.

<https://rollingstonejapan.com/articles/detail/35155/15/1/1>

Rosen, Jody. "good kid, m.A.A.d city." *Rolling Stone* October 22, 2012.

<https://www.rollingstone.com/music/music-album-reviews/good-kid-m-a-a-d-city-185646/>

Spotify 「ケンドリック・ラマー」 <https://open.spotify.com/intl-ja/artist/2YZyLoL8N0Wb9xBt1NhZWg>